

令和5年2月24日から2月26日の3日間、愛知県豊橋ホテルシーパレスリゾートで第23回全国青年対策交流集会に参加させていただきました。私は初めての全国対策交流集会の参加だったので緊張していました。

全国青年対策交流集会はコロナの影響もあり、約3年ぶりの開催で全国の地方からきている方も、人見知りなのか、不慣れなのか緊張していて最初は口数が少なかったです。24日の初日は全港湾中央執行委員長の鈴木誠一さんが講師をしてくださり、「全港湾の歴史」について学びました。わかりやすく説明してくださり、良い勉強になりました。一つ残念だったのが、時間が足りず最後まで話を聞くことができなかつたことです。また機会があれば聞きたいと思いました。

2日目は「原子力発電所建設阻止のたたかいから学ぶ」を全国港湾労働組合連合会中央執行委員長の真島勝重さんから当時の話を聞きました。今では考えられないようなことが毎日起きていたので驚きました。

1日目、2日目の話を聞き、昔の方は20代で勇気ある行動をとり毎日毎日考えながら一歩ずつ前に進んで闘いに勝っていったので、この心の強さと待っても何も起こらないから一人ひとりが意味ある行動をしてきたので、自分も気持ちを表に出したいと尊敬していました。

福島キャラバンについても2日間A～Fの6班に分かれて議論していきました。脱原発の行動として全国展開していくためには、どのようにしたら良いかを全国の方々と話し合いました。その結果、自分たちの班では脱原発の行動を各地方で同じ日に行えば、全国一般の方々にも広めていけるのかと思いました。あとは、5日間連続で行うのではなく、例えば1月、2月、3月の3ヶ月だとすると1ヶ月で2日間、月に2回とかに分ければ来られる人の数も増えると思いますし、余裕をもって計画もできると思いました。

福島キャラバンのみんなと話し合っただけで原発に対する気持ちが変わりました。今までは原発に興味がなかったので、有っても無くても、どちらでもよかったと思って今まで過ごしてきましたが、今回参加させていただいてどれだけ危険なのかを理解して原発はない方がよいと思いました。

この3日間経験したことを後輩に原発はどれだけ危険かを伝えていきたいです。全国青年対策交流集会に参加してよかったです。

関東地方鹿島港支部 山本 恭平